

IMS Miyoshi

イムス三芳総合病院広報誌 愛し愛されるIMS

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

年頭所感

イムス三芳総合病院
院長 田和良行

地域の皆様、

新年あけましておめでとうございます。

私が平成27年4月にイムス三芳総合病院院長に赴任してから3度目のお正月を迎えました。

地域の皆様、地域医療機関の皆様には、旧年中も当院をご利用いただき、あるいは叱咤激励をいただき、大変ありがとうございました。

当院は昭和52年5月に三芳厚生病院として産声を上げ、平成19年11月に現在のイムス三芳総合病院に改称。そして平成25年3月に当地に新築移転となった歴史のある病院です。移転後は急性期医療に注力して、私が院長として赴任後は、更にその動きを加速して今日に至っています。平成28年には病院機能評価機構認定病院となり、その後、循環器内科、乳腺外科、内分泌・代謝・糖尿病内科、臨床腫瘍科など充実、各領域学会認定施設の指定も取得し、対応力の拡充も行いました。

平成29年11月には電子カルテを導入。更に現在入院対応力を増強するために、35床増床の工事も行っています。

今年は増床工事も終了して、2月には総ベッド数273床の新生イムス三芳総合病院となります。今まで以上に、地域医療機関、行政などと協力しながら地域医療に邁進していく所存ですので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



皮膚科医監修

赤いポツポツができれば…

「赤いポツポツができたけど、そのうち治るかな」と思い、放置してしまうことがありますか？ しかし対処法が遅くなると、状態が悪化することがあります。

そこで、当院皮膚科医の副島清美医師に監修頂き、冬場が増える带状疱疹やその他の赤い発疹について、教えて頂きました。

带状疱疹(ヘルペス)

寒くなってくると疲れやすくなり免疫力が低下するため、ヘルペスを発症することがあります。昨今では、带状疱疹の患者が増加傾向にあり、若年者にも多く発症がみられます。

痛みやかゆみが出た数日後に赤い発疹が出てくることが多いです。

治療せずに放置しておくとう神経痛などの合併症が長引くこともあります。

薬疹

薬疹とは、薬の服用や注射によって引き起こされる赤い発疹で、自覚症状に乏しい場合は薬疹の可能性がります。

各個人の免疫力により薬疹の発症時期は異なりますが、内服をはじめてから1~2週間後に発症することが多いと考えられています。

ダニ・疥癬

以前、ダニ刺症は夏に多く見られましたが、最近の住宅は気密性が高く冬でもダニが活動しやすいため、一年中みられます。

赤い発疹とともに、激しいかゆみを伴います。

人に感染する事もあります。また痒疹等と間違えられやすいです。

監修した医師のご紹介

皮膚科医
副島 清美

山梨大学医学部卒
日本皮膚科学会
(専門医)

皮膚科外来日

	月	火	水	木	金	土
AM	● 副島	● 副島	● 品田 9:30~ 診察開始	● 土田	● 副島	● 副島 受付 11:00まで
PM	● 中村		● 佐藤 受付 16:30まで	● 土田	/	/



薬疹



いずれも、早い受診での対応がカギになります。

赤い発疹は放置せずに1度、外来でご相談をオススメします。

Column

冬の皮膚乾燥～予防と対策～

冬は空気が乾燥するため、皮膚も乾燥しがちです。皮膚の乾燥を感じながらも放置しておくと、ひび割れなどをおこしてしまいます。

では、どのように気を付ければいいのでしょうか。当院皮膚科医の副島清美医師に皮膚の乾燥についての予防と対策についてもお教えて頂きました。

予防について

①保湿剤

- ・・・基本はこまめに塗ること。
一番効果的な保湿剤をつけるタイミングは、お風呂上がり。



②部屋を加湿する

- ・・・暖房をつけると空気が乾燥しがちなので、部屋全体を加湿器などで加湿しましょう。加湿器がない場合は、洗濯物を干したり、タオルを濡らして干すなどの工夫を。



対策（皮膚乾燥しているとき）

①保湿剤

- ・・・よりこまめ（朝とお風呂上り）に塗ること。
種類をよりしっとりしたタイプに変更。
セラミドの成分が入っているものがオススメ。



亀裂が入った肌の様子

②赤くなったり、亀裂が入った場合

- ・・・右の写真のような状態になった場合は、皮膚科を受診し、専門の外用薬を使用しましょう。



③保湿剤の外用を習慣化

- ・・・年齢と共により皮膚は乾燥してきます。
中年期（40代～）を過ぎたら季節に関係なく保湿剤を塗ることが大切です。

保湿をして、肌表面の皮膚を傷つけないことが重要です。
乾燥によって、皮膚がひび割れたりすることで、そこから雑菌などが入り、皮膚の状態が悪くなることがあります。
ただの保湿と侮らず、続けることが大切です。

INFORMATION



リニューアル情報

地域の皆さまがご利用しやすくなるよう、院内のリニューアルを進めています。どのような点をリニューアルするのか、簡単にお伝えします。詳細は順次追って行います。

2月 新病棟オープン!

4階フロアが、
新病棟として稼働。
35床・増床!

2月 健診センター リニューアル

受付が2階に移動
検査がスムーズに

3月 患者様相談室 リニューアル

よりご利用しやすい、
1階フロアに移動

前日に電話予約できます! 胃カメラ

仮予約を電話で行えます。
詳しくは、当院ホームページを
ご覧ください



24時間救急対応

お問い合わせ先



049-258-2323(代)

救急の場合は24時間体制で、できる限り対応しております。診察可能かどうか必ずお電話で確認してください。

発行: IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会



イムス三芳総合病院

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3

TEL 049-258-2323 (代)

<http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/index.html>

2017年冬号 編集担当: 広報委員会